

89 式 5.56mm 小銃 (陸幕)



現用 64 式小銃の更新近代化用で、平成元年度から取得開始。口径は、NATO の第二標準弾である 5.56mm を採用している。固定銃床型と空挺隊員や戦車隊員など用の折り曲げ銃床型の 2 型式がある。銃床の素材には強化プラスチックを使うなど、一部に新素材を取り入れて、重量も 64 式小銃に比べて軽量化された。部品点数は 64 式小銃に比べ約 10% 少なく、分解結合が容易にできる。単発と連発の切り換えができるほか、「3 点制限点射」(スリー・ショット・バースト)方式を採用している。

[諸 元]

口 径	5.56mm
全 長	920mm (固定銃床型) 670mm (折り曲げ銃床型)
銃 身 長	420mm
重 量	3.5kg
作動方式	ガス圧利用
給弾方式	弾倉式
発射速度	最大 850 発 / 分

[製 作] 豊和工業(株)

[数 量] 3,254 丁

[金 額] 12 億円